

平成25年度に建設工事で発生した事故事例（建設機械の事故）

事故概要：

生コンクリートをホッパーに入れ、バックホウにて不整地運搬車に積み込む際、バックホウがバランスを崩して横転し、オペレーターが負傷した。

事故原因：

- ・アームを伸ばしながら旋回した。
- ・定格荷重の表示の措置を講じていなかった。
- ・車両系建設機械の作業計画を作成していなかった

改善対策：

- ・専従の者以外は運転しない。
- ・定格荷重を重機に表示する。
- ・作業計画を作成し遵守する。



分類：コンクリート打設工、クレーン吊

被害状況：（右小指切断、右下腿打撲、右足部打撲挫創）

平成28年度に建設工事で発生した事件事例（挟み込みによる事故）

【事故概要】

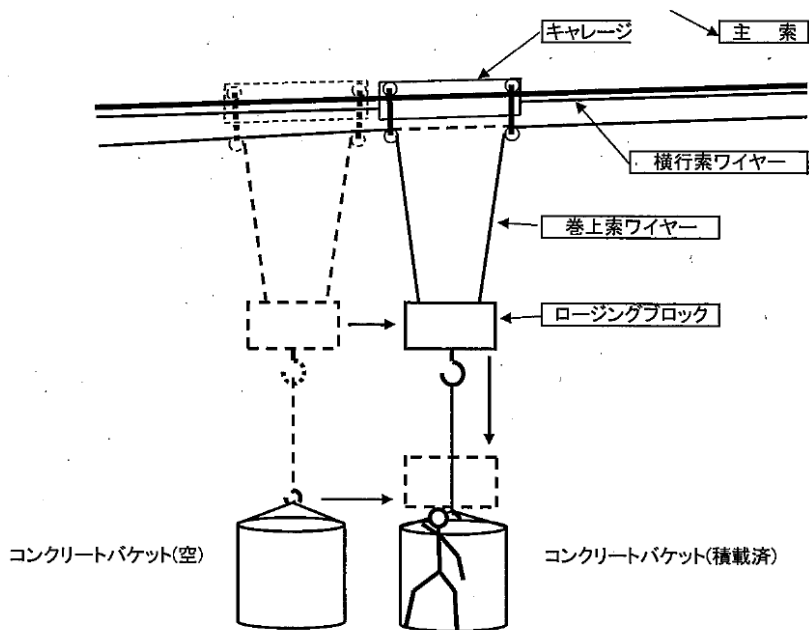
生コンクリートを打設現場へ索道搬送するため、作業員1名が空のコンクリートバケットから索道（ロージングブロック）に繋がるフックをはずし、生コンで満たしたコンクリートバケットに付け替えていたところ、上方に固定されていたはずのロージングブロックが降下し、作業員の背中に衝突、同時に、コンクリートバケットとの間で板挟みになり、胸部が圧迫され負傷した。索道機械の操作は別の作業員が操作していた。

【事故原因】

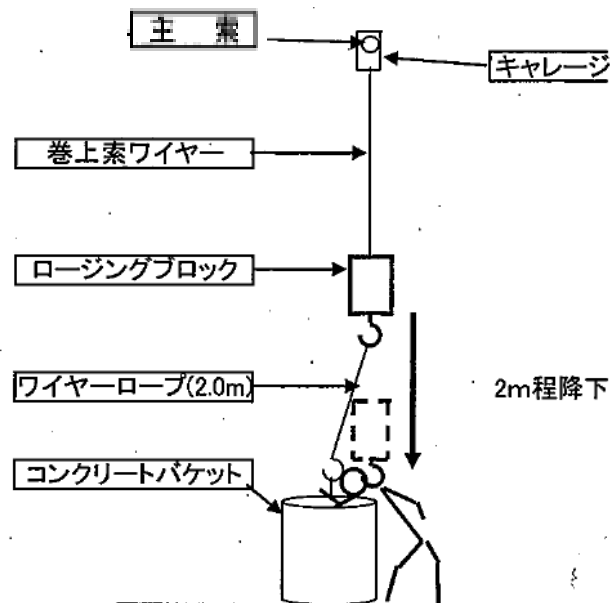
- ・索道機械の運転操作ミス（巻上索ブレーキ不十分）

【改善対策】

- ・指さし呼称により巻上索及び横行索ブレーキのロックを確認する
- ・索道直下（ロージングブロック直下）以外での作業を徹底する
- ・作業手順書を作成・掲示し安全教育を徹底する



フックの付替え作業終了間際にロージングブロックが、降下しロージングブロックとコンクリートバケットに挟まれた。



分類: コンクリート打設、クレーン吊

被害状況: 頸椎棘突起・左肩甲骨骨折、左肋骨多発骨折、肺挫傷(加療1ヶ月)